

平成30年度 北陸建設界の  
担い手確保・育成推進協議会の概要

令和元年 7月18日

北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会  
富山県部会

産学官が連携した「平成30年度 北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会」を開催し、3県部会（新潟・富山・石川）からの活動報告や近年の新卒者の雇用状況等を踏まえて意見交換を実施。

今回頂いた意見を踏まえ、各県部会において平成31年度の活動に反映。

【日時】平成31年1月29日（火）13:15～15:00

【開催地】北陸地方整備局、富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所

（3会場）3会場はテレビ会議、新潟会場はタブレット端末によるペーパーレス会議を実施）

【参加機関】

【行政機関】国土省北陸地整、厚労省各県労働局・3県（土木部・教育委員会）、新潟市（土木部）

【業界団体】日建連北陸支部、各県建設業協会、建設コカシカツ協議会北陸支部、各県測量設計業協会、北陸地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

【教育機関】建設系大学、高等専門学校、建設系高等学校

### 【協議会での主な意見】

建設系学科以外から入職する技術者や技能者が多いことから、普通科高校等への取り組みを強化すると共に、裾野を広げた小学生や中学生等の将来世代に対する取り組みも継続すべき。

学生・生徒への取り組みは、進路決定に向けた適切なタイミングと、それぞれでどのようなコンテンツでアピールしていくかの工夫が必要。

新たに始めた合同企業セミナー等の取り組みについては、その効果を確認しながら次に役立てていく必要がある。

せっかく入職しても3年以内に離職する若者が多いことから、働き方改革により就労環境の改善を推進することが重要。



新潟会場



富山会場



石川会場





## 平成30年度 各県部会の開催状況

- 平成30年6月に第1回各県（新潟、富山、石川）部会を開催。  
平成30年度に予定している活動や新たな取り組みについて情報を共有し、現状の課題等に関する意見交換を行った。
- 平成30年12月に第2回各県（富山、石川）部会を開催。  
平成30年度の活動の取り組みと現状の課題等の情報共有と、平成31年度に向けた、活動内容・連携協力体制等について意見交換を実施した。

### 平成30年度 第1回 県部会 開催概要

【新潟県部会】平成30年6月15日（金） 10:00～12:00  
【富山県部会】 7月 5日（木） 10:00～11:30  
【石川県部会】 6月11日（月） 10:00～11:45  
【開催地】北陸地方整備局、富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所

### 平成30年度 第2回 県部会 開催概要

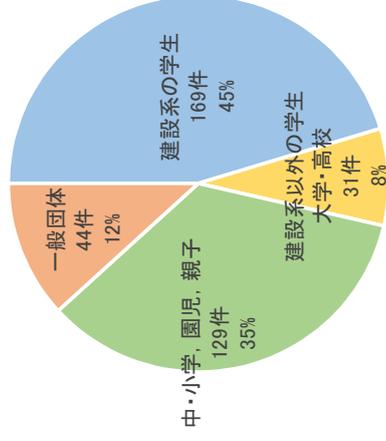
【富山県部会】平成30年 12月27日（木） 10:00～11:30  
【石川県部会】 12月17日（月） 10:00～11:45  
【開催地】富山河川国道事務所、金沢河川国道事務所

# 平成30年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて

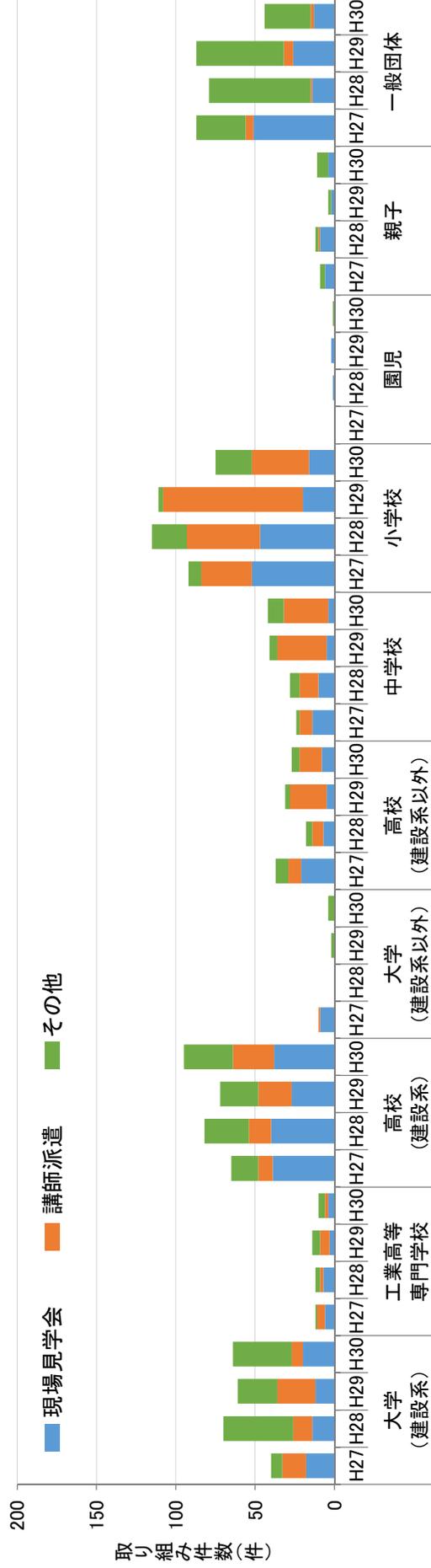
- ・平成30年度において、各機関の活動数は373件であり、そのうちの54%が他機関・団体と連携し行われている。
- ・対象者別では、建設系の学生を対象とした取り組みが最も多く実施されており、全体の45%を占めている。
- ・また、前年度(平成29年度)と比較すると、建設系の高校を対象とした取り組みが増加している。

	建設系の学生以外を対象		建設系の学生以外を対象 中・小学 園児・親子	建設系の学生以外を対象 一般 団体		各機関で 連携・合同で 取り組んだ件数
	建設系の 学生対象	合計		建設系の学生 以外	建設系の学生 以外	
H27年度	117 (31%)	376 (100%)	47 (13%)	125 (33%)	87 (23%)	164 (44%)
H28年度	164 (39%)	417 (100%)	18 (4%)	156 (37%)	79 (19%)	171 (41%)
H29年度	147 (35%)	425 (100%)	33 (8%)	158 (37%)	87 (20%)	146 (34%)
H30年度	169 (45%)	373 (100%)	31 (8%)	129 (35%)	44 (12%)	201 (54%)

平成30年度 取り組み別実施件数



平成30年度 対象別取り組み件数



# 平成30年度 建設界の担い手確保・育成に関する取り組みについて

## 【留意事項】

- ・本資料は、各機関・団体で、対象毎にどのような取り組みを行ったのか、幅広く事例を集め、各機関・団体が次年度以降の取り組みを考へるうえでの参考とすることを目的に整理したものです。
- ・実施件数は概ねの傾向を把握するために集計したものです。（※各機関・団体の判断により取り組みを分類し、報告頂いているため、分類の不整合を含みます。）

	平成27年度				平成28年度				平成29年度				平成30年度			
	現場見学会	講師派遣	その他	合計												
大学(建設系)	18	15	7	40	14	12	44	70	12	24	25	61	20	7	37	64
工業高等専門学校	6	5	1	12	7	2	3	12	3	6	5	14	4	2	4	10
高校(建設系)	39	9	17	65	40	14	28	82	27	21	24	72	38	26	31	95
大学(建設系以外)	9	1	0	10	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	4	4
高校(建設系以外)	21	8	8	37	7	7	4	18	5	23	3	31	8	14	5	27
中学校	14	8	2	24	10	12	6	28	5	31	5	41	4	28	10	42
小学校	52	32	8	92	47	46	22	115	20	88	3	111	16	36	23	75
園児	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	2	0	0	1	1
親子	6	0	3	9	9	1	2	12	2	0	2	4	4	0	7	11
一般団体	51	5	31	87	14	1	64	79	26	6	55	87	13	2	29	44
合	216	83	77	376	149	95	173	417	102	199	124	425	107	115	151	373
計	165	78	46	289	135	94	109	338	76	193	69	338	94	113	122	329





# 桜井高校生が河川の災害復旧工事を学ぶ

## 担い手確保の取り組み

- 実施日時：平成30年11月22日（木） 13:45～15:45
- 場所：黒部市宇奈月町音澤地先  
（黒部川 音沢橋付近右岸）
- 対象：富山県立桜井高等学校 土木科2年生 40名  
  - 主催：黒部河川事務所
  - 共催：富山県建設業協会 入善支部

- 内容：
  - ・黒部川の概要について
  - ・急流河川特有の被災メカニズム、復旧工法（練石張護岸）について学ぶ
  - ・マシンガイダンスを搭載した建設機械を学ぶ
  - ・桜井高校OBの若手技術者による仕事の魅力や経験談



仮締め切り中の現場での説明

○ あいにくの雨の中でしたが、平成29年7月出水により被災を受けた時の黒部川特有の被災メカニズムや当時の応急対応の状況、練石張護岸について説明を行うと、生徒達は熱心に耳を傾けていました。

○ また近年の建設界の話題として、**i-Constructionの概要を説明し、マシンガイダンス機能が搭載されたバックホウ**を見学しました。

○ あわせて、この災害復旧工事の受注者の新入社員であり桜井高校OBの技術者から、**建設界の魅力などについてお話いただきました。**



マシンガイダンスのしくみの説明



先輩OBからのお話に耳を傾ける

### 参加した学生より

- 知らないことがたくさんあって驚いた。このような仕事に携わることも今後の就職活動の選択肢の一つとして考えていきたい。

生徒代表からの御礼の言葉

○甚大な被害をもたらした平成20年下新川海岸高波災害から10年。時間の流れとともに薄れがちな災害の記憶を思い返し、その経験・教訓を次世代へ語り次ぐための「語り部の会」を開催しました。  
○約180名の参加者のもと、「災害を振り返る」上映をはじめ、高校生や地元建設会社による当時の記憶の振り返り、当時対応された語り部4名を含めたパネルディスカッションなどを行いました。

### 開催概要

- 時 | 平成30年11月11日(日) 13:00~15:30
- 会 場 | 入善町消防防災センター (入善町上野571)
- 主 催 | 下新川海岸水防連絡会
- 参加者数 | 約180名
- 開催内容 |
  - ・ 上映 「災害を振り返る」
  - ・ H20.2.24高波 被災状況及び対応状況

- 体験発表  
小学生での記憶  
青木 颯良さん 富山県立桜井高等学校 土木科3年  
応急対応の記憶  
大川 浩幸さん 共和土木(株) 土木部 課長  
寄り回り波を振り返って  
司会朗読 (朝日町在住の方の投稿文)

- パネルディスカッション  
「あの時の経験とこれからの備え」

- <コーディネーター>  
福濱 方哉 富山河川国道事務所長
- <語り部>  
島倉 与志貴さん 入善町在住 新酒 善彦さん 黒部市在住  
大井 光男さん 朝日町在住 神子沢 喜彦さん 入善町参事
- <コーディネーター>  
川口 歳則 富山県立山土木事務所 所長代理  
古本 一司 黒部河川事務所長

- パネル展示 (高波災害を振り返る)



入善町梅津副町長による開会挨拶



「高波災害を振り返る」パネル展示に見入る参加者



体験発表  
小学生での記憶を語る青木さん

体験発表  
応急対応の記憶を語る大川さん

体験発表に聞き入る参加者



語り部4名を含めた7名によるパネルディスカッション  
当時の波の様子や対応状況などを語り部のみなさん



寄り回り波のしくみを説明する福濱コーディネーター

人生58年間に、2度の寄り回り波を経験しており、これが風化されないよう後世に伝えていくべきである。

当時、被災者でした。各々の立場で復興に努力いただいたことにあらためて感謝いたします。私は被災した日を防災グッズ等点検の日とし、災害を考える日としていきますが、引き続き気をひきしめていきたいと思いました。

# まちななか授業inグラントプラザに参加！

富山大学都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科では、地域と共に学ぶことの一环として、当学科の1年生を対象とした必修科目「都市と交通を支える建設技術の基礎知識」を、富山の中心市街地グラントプラザにおいてオープン・クラス(まちななか授業)として実施しています。講義には、都市・交通デザイン学科の教員以外に、社会の第一線で活躍するゲストも含めて登壇しています。今回はその第9回目として、砂防に関する講義を富山県土木部砂防課の森田課長、立山砂防事務所の大坂事務所長が行いました。

日時：平成30年6月22日(金) 13:15～14:45

場所：総曲輪グラントプラザ

内容：第9回『立山砂防と富山の土砂災害対策の最前線』

参加者：富山大学都市デザイン学部

都市・交通デザイン学科1年生45名、一般聴講者

## ◆プログラム◆

○講義1 「富山の砂防」

富山県土木部砂防課 森田 耕司 課長

○講義2 「立山カルデラの砂防」

立山砂防事務所 大坂 剛 事務所長



講義1：森田 耕司 課長



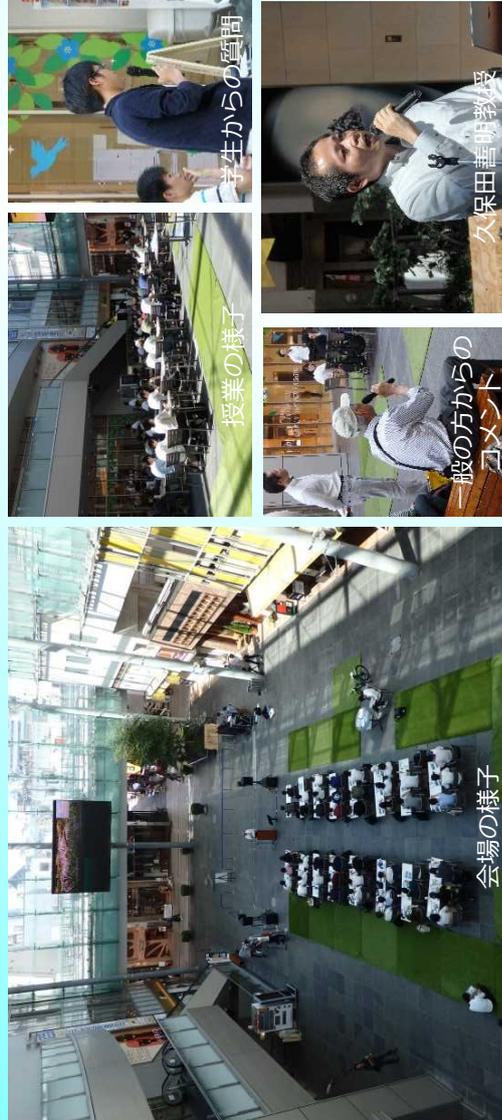
講義2：大坂 剛 事務所長

### ○講義1

- ・土砂災害とは
- ・土砂災害の実態
- ・激化する理由
- ・富山県の土砂災害の状況
- ・ハード対策による土砂災害対策の推進
- ・ソフト対策による土砂災害対策の推進
- ・立山砂防の世界遺産登録に向けた取組

### ○講義2

- ・常願寺川流域の特徴
- ・安政5年(1858)の大災害
- ・デレーケの河川改修(明治24～26年)
- ・直轄砂防事業(大正15年着手)
- ・白岩砂防堰堤(昭和14年完成)
- ・本宮砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群等
- ・工事の安全施工の推進、無人化施工
- ・ICT技術活用(UAV測量、情報化施工)



### 質疑応答

Q：情報通信技術の発展に伴い実施していることは？

A：ドローンで測量を実施、人工衛星の情報利用、鋼製堰堤等

Q：工用軌道(トロッコ)を使い続ける理由は？

A：トロッコと車輛それぞれ利点があり、現場条件や輸送内容で使い分けている。また、トロッコは一般の方の見学にも使っている。

# 「太田小学校」で出前講座！

暴れ川として有名な常願寺川の特徴や土砂災害の種類、砂防堰堤の役割等々、立山砂防の事業に興味を持ってもらうことを目的として、富山市立太田小学校にて出前講座を実施しました。  
小学生ならではの鋭い感性で質問があり、興味津々な児童がとて頼もしく見えました。

砂防堰堤の役割は分かったかな？

開催日：平成30年6月28日(木)

場所：富山市立太田小学校

参加者：5年生(29名)・教員(1名)

◆講座内容◆

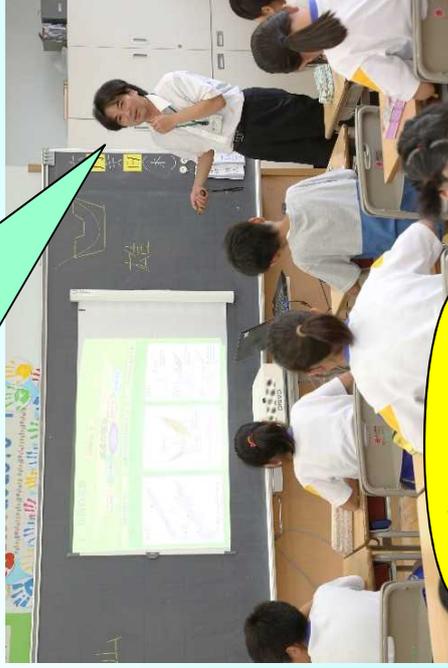
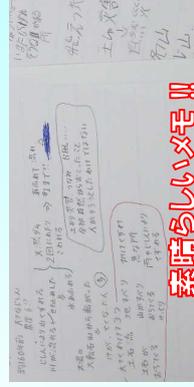
1. 立山と常願寺川
2. 立山カルデラ
3. 土砂災害
4. 砂防の役割
5. 立山砂防の仕事

出前講座の様子



質問のあるひと??

は〜い!



【児童からの質問や感想】

- ・立山カルデラは自然につくられたの？
- ・「砂防」という言葉は初めて知りました！
- ・砂防堰堤が町を守ってくれていることを学びました！
- ・土砂災害はいつでもどこで起こるから分らないので気を付けようと思います！・・・etc

今回の出前講座は、昨年度に引き続き「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援しました(昨年度は、立山町立立山中央小学校)。また、来る9月4日(火)には当事務所管内の現場を見学、9月28日(金)には土砂災害の模型等による講座も支援する予定です。

# Vol. 14 H30.6.29 『僕ら「さぼろ」探検隊！』を開催 土砂災害とは？ ～上市町立陽南小学校～



立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼろ」探検隊！』と称し、「総合的な学習」を支援しています。

開催日 平成30年6月29日(金) 13:45～14:50  
 場所 立山砂防事務所構内  
 参加者 上市町立陽南小学校  
 5、6年生:24名 引率者:5名 【計29名】  
 ※今回は、富山県 立山土木事務所が行う  
 「こども砂防教室」の一環として開催されました。



土砂災害には種類があります

【児童からの質問】  
 Q 砂防堰堤1基で、土石流は防げるの？  
 A 地域によって、どのくらいの土砂があるかで変わってきます。  
 1基で防げる場合もあれば、10基、20基と必要になることも。  
 立山砂防事務所では100基以上の砂防堰堤をつくり、みんなの住んでいる地域を土砂災害から守っています。



土砂災害ミニ模型



土石流

土砂災害ミニ模型で勉強することたち



地すべり



クイズに挑戦！



トロッコの映像



クイズに挑戦！



ジオラマで常願寺川を勉強

土砂災害の恐ろしさがありました！  
 ありがとうございます！



土砂災害とは？

土石流

地すべり

がけ崩れ

です。

覚えているかな？

# 世界遺産登録人材育成プログラム(高校生コース)に参加!



世界遺産の現状や課題、世界文化遺産登録を目指す立山カルデラの歴史的砂防施設群などについて若い世代への普及啓発を図ることにより、未来の世界遺産を守る基盤づくりと「立山・黒部」の世界遺産登録の推進に寄与することを目的として、「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(高校生コース)」が7月23日～25日の3日間にかけて行われております。

今回はその第1日目の3講座のうち、立山砂防事業に関する講義を、立山砂防事務所の大坂事務所長が行いました。

日時：平成30年7月23日(月) 13:00～14:20  
 場所：富山県民会館701号室  
 名称：平成30年度世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(高校生コース)  
 主催：富山県世界遺産登録推進事業実行委員会(富山県、関係機関、民間団体、有識者等により構成)  
 参加者：県内高校生 37名

## ◆プログラム◆

- 講座1 「立山・黒部の世界遺産登録の取組み」  
富山県総合政策局 企画調整室
- 講座2 「立山の自然と災害」  
立山カルデラ砂防博物館 本田 孝夫 館長
- 講座3 「立山砂防事業・現在の暮らしと砂防」  
立山砂防事務所 大坂 剛 事務所長

## ○講座3

・はじめに

先日、西日本で大きな災害が発生した。これと同じような災害が約150年前に富山県内でも発生した。その災害のために、富山平野が高さ2mほど埋まってしまうほどの約2億m<sup>3</sup>の土砂が、現在も常願寺川上流に存在している。この土砂との戦いが現在に至るまで繰り返されてきた。

- ・立山カルデラの周辺
- ・常願寺川流域の特徴
- ・安政5年の大災害
- ・砂防事業の歴史
- ・デレーケの河川改修、富山県による砂防事業、直轄砂防事業、白岩砂防堰堤本宮砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群、多枝原砂防堰堤群、立山砂防工事専用軌道最新工法
- ・無人化施工、シャッター付き砂防堰堤 ICT技術の活用 (UAV、MGI法)
- ・「TEC-FORCE」派遣 など



講座3：大坂 剛 事務所長



講義の様子



会場の様子

「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム」とは、専門家を招いての世界遺産講座や、世界遺産“候補”である立山カルデラの歴史的砂防施設群などの見学を通じて、若い世代に富山県の世界遺産“候補”について知っていただくプログラムです。

平成25年度から大学生等を対象に実施しており、昨年から高校生向けコースが新設されました。

# 「第22回SABO体験楽校」を開催！

富山平野と砂防の関わりを楽しみながら理解を深める目的として、富山県内の高校生が参加する「SABO体験楽校」を毎年開催しています。

今年の「SABO体験楽校」では、9名の高校生が工事現場での実体験や砂防事業に携わる人々との交流を通じて、学校の授業では得られない貴重な体験をしました。

開催日：平成30年7月31日(火)～8月2日(木)【2泊3日】

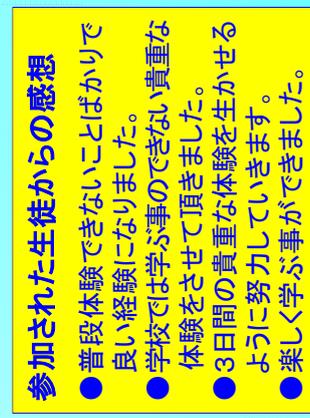
場所：立山砂防事務所管内

参加校：富山県立桜井高等学校 4名

富山県立富山工業高等学校 5名 計9名

主催：立山砂防事務所

一般財団法人 富山・水・文化の財団



# Vol. 21 H30.8.10 『僕ら「さぼろ」探検隊！』を開催 砂防堰堤とは？ ～富山市立福沢小学校～

TATEYAMA SABO

立山砂防事務所では、毎年6月から10月に県内の小学生を対象とし、常願寺川の災害・歴史や立山カルデラの砂防事業について、より理解を深めてもらう事を目的に、『僕ら「さぼろ」探検隊！』と称し、「総合的な学習」を支援しています。

開催日 平成30年8月10日(金) 10:00～11:40

場所 立山砂防事務所構内

参加者 富山市立福沢小学校

3～6年生: 15名 引率教諭: 3名 父兄: 8名

富山法人会青年部会: 10名 【計36名】

※今回は、富山県法人会青年部が行う

「租税教育バス」の一環として開催されました。



砂防堰堤見学

常願寺川の特徴や砂防堰堤の役割について勉強しました！



土石流体験3Dシアター

土石流の特徴や非常時の備えを勉強しました！



土石流模型実験

トロッコと記念撮影！



トロッコに乗車



砂防堰堤はすごいなあ～！



児童からお礼の言葉をいただきました！

常願寺川の特徴と砂防堰堤の働きがよくわかりました。ありがとうございます！

砂防を専攻する大学生を対象に、工事現場体験や中山間地域での生活体験を通して、砂防工事が行われている流域の現状や地域防災への取り組みなどを学び、学習意欲の喚起と職業意識の育成を図ることを目的とした『キャンプ砂防2018 in 立山』が開催されました。

開催日：平成30年8月20日（月）～23日（木）4日間  
 場所：常願寺川流域（富山県中新川郡立山町及び富山市）

参加者：大学生 5名

（信州大学、群馬大学、広島大学、岩手大学、京都大学）

主催：立山砂防事務所

協力：富山市、立山町、立山カルデラ砂防博物館

工事体験及び現場視察



木交換体験  
 協力：富山地域建設（株）



生コン打設体験  
 協力：丸新建設（株）



ドローンによる写真撮影体験  
 協力：（株）林土木



現地視察  
 自岩砂防堤



ICT施工体験  
 協力：辻建設（株）



ロープ作業体験  
 協力：新栄建設（株）



生コンプラント視察  
 協力：水谷生コンクリート（株）



水源調査（壺野）  
 多枝原展望台



開講式



立山砂防事務所  
 大坂事務所長



富山市  
 笹岡参事



キャンプ砂防2018 in 立山  
 8月20日～24日  
 砂防事務所・立山町・立山町建設課  
 立山町  
 竹島建設課長

地域行政視察



富山市建設部建設政策課



立山町（中橋町）

報告会及び閉講式



報告会の様子



修了証書授与

- 報告会での意見・感想（抜粋）
- 実際に行ってみると、立山砂防の規模の大きさや工事の困難さを目の当たりにし、スケールの大きさにとても驚いた。
  - 大学で学んでいる知識について、実際にどのように活かせるかを今後の研究の中で考える良い機会となった。
  - 砂防の第一の目的は土砂災害を防ぎ被害を最小限に抑えることにあるが、観光の面でも非常に魅力的であり、多くの人に知ってもらいたいと感じた。
  - 将来は多くの人々に砂防に関して知ってもらいたい、命を守る事業が行われていることを伝える仕事になりたいと感じた。
  - 立山砂防が世界遺産になれば、SABOの知識が世界にもっと広がり、立山砂防で培われた知識が世界中の人に知ってもらえる良い機会になると感じた。

キャンプ生の皆さま、お疲れさまでした。

# 世界遺産登録人材育成プロジェクト ユースプログラム(大学生等コース)に参加!



世界遺産の現状や課題、世界文化遺産登録を目指す立山カルデラの歴史的砂防施設群などについて、若い世代への普及啓発を図ることにより、未来の世界遺産を守る基盤づくりと「立山・黒部」の世界遺産登録の推進に寄与することを目的として「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(大学生等コース)」が8月22日～25日の4日間にかけて行われております。  
今回はその第2日目の3講座のうち、立山の砂防事業に関する講義を、立山砂防事務所の大坂事務所長が行いました。

日時：平成30年8月23日(木) 13:00～14:30  
場所：富山県民会館704号室  
名称：平成30年度世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム(大学生等コース)  
主催：富山県世界遺産登録推進事業実行委員会(富山県、関係機関、民間団体、有識者等により構成)  
参加者：大学生等9名、その他庁内聴講者13名

## ◆プログラム◆

- 講座2 「立山の自然と災害」  
立山カルデラ砂防博物館 本田 孝夫 館長
- 講座3 「立山砂防事業・現在の暮らしと砂防」  
立山砂防事務所 大坂 剛 事務所長
- 講座4 「立山・黒部の世界遺産登録の取り組み」  
富山県総合政策局 企画調整室

### ○講座3

・はじめに

富山県内には3000m級の山々がそびえ、美しい景観と引き換えに土砂災害のポテンシャルが高い地域と言える。160年前に県内で発生した土砂災害による土砂が現在も常願寺川上流に存在しており、この土砂との戦いが現在まで繰り返されてきた。

- ・立山カルデラの周辺
- ・常願寺川流域の特徴
- ・安政5年の大災害
- ・砂防事業の歴史

デレーケの河川改修、富山県による砂防事業、直轄砂防事業、白岩砂防堰堤、本宮砂防堰堤、泥谷砂防堰堤群、多枝原砂防堰堤群、立山砂防工事専用軌道

- ・最新工法
- ・無人化施工、シャッター付き砂防堰堤
- ICT技術の活用(UAV、MGI法)
- ・「TEC-FORCE」派遣 など



講座3：大坂 剛 事務所長

### ・Q&A

Q: 立山砂防のような大規模な砂防事業は、全国的には他に何があるのか？

A: 南は九州から北は北海道まで様々な事業が行われており、それぞれ特徴があるので中々ひとまとめにはできない。  
上流部に土砂が貯まっており下流の市街地を守る【水系砂防】の代表格は立山砂防。火山噴出物などから下流を守る【火山砂防】の代表格は桜島や大沢崩れなど富士山の砂防事業など。

「世界遺産人材育成プロジェクトユースプログラム」とは..

専門家を招いての世界遺産講座や、世界遺産“候補”である立山カルデラの歴史的砂防施設群などの見学を通じて、若い世代に富山県の世界遺産“候補”について知っていただくプログラムで、平成25年度から実施しています。



# 「太田小学校」で出前講座！“土砂災害の実験を体験”

今年の6月に続いて、5年生に向けた出前講座を実施しました。前回は、常願寺川の特徴や土砂災害のメカニズム等々について勉強しましたが、今回は、より理解を深めるため土砂災害に関する実験を行いました。児童達は、実際に土砂災害のミニ模型や実験を体験し、いろいろな感想を聞かせてくれました。

開催日 : 平成30年9月28日 (金)  
 場所 : 富山市立太田小学校  
 参加者 : 5年生 (30名)  
 教員 ( 1名)

まずは土砂災害について  
おさらいしてみよう!!



水を流すよー！

屋外での実験



砂防堰堤を設置！



土石流模型実験



地すべり模型実験



がけ崩れ模型実験



パネル説明



勉強したことをしっかりとメモ!!



今日はありがとうございました！

## 【児童の感想】

- 土石流の実験や土石流、地すべり、がけ崩れの3つあることを学びました。
- 土砂災害には土石流、地すべり、がけ崩れの3つあることを学びました。
- 土石流を防ぐために砂防堰堤が必要であることを勉強しました。
- 等々沢山の感想を頂きました。

今回の出前講座は、「斜面防災対策技術協会富山支部」が主催となり、当事務所が支援した出前講座です。

第一回目の出前講座は、6月28日に開催しました。  
 VOL. 12で紹介していますので是非ご覧になって下さい。

## 富山大学都市デザイン学科の学生を対象に現場見学会を実施

平成30年7月20日(金)、富山大学都市デザイン学科の生徒を対象に常願寺川の河川改修の歴史をテーマに学習会と現場見学会を実施しました。

学習会では参加された学生の方から常願寺川の改修の歴史についての質問の歴史についての質問の質問があり現場見学会を通して建設業界に関心を持ってもらうことができました。

### 事前学習会



常願寺川の災害と改修の歴史をテーマに事前学習会を実施し以下のような発言がありました。

- ・過去の災害ではどのような被害があったのか
- ・常願寺川での河川改修における課題は何か
- ・巨大水制群にいろいろな形があるのはなぜか
- ・今後の改修ではどのような治水工事を検討しているか

### 現場見学会



現場見学会での感想

- ・常願寺川の災害や河川改修について学ぶことができた
- ・急流河川特有の治水工法を見ることができてよかった

上滝床固め

常願寺川河口部



# 高岡工芸高校3年生が工事現場を見学

開催日 : 平成30年5月21日(月)  
参加者 : 高岡工芸高校3年生 27名  
場所 : 国道359号砺波東バイパス(いかるぎの大橋上部その1工事外2工事)  
概要 : マシンガイダンス付バックホウ見学、鉄筋組立体験、若手技術者(同校OB)の体験談



マシンガイダンス付バックホウの見学



写真測量の説明



鉄筋組立の体験



コンクリート構造物の非破壊試験説明



若手技術者の体験談



集合写真



# 金沢工業大学、反転事業（講座、現場視察）

- 開催日：平成30年6月22日（金）  
参加者：金沢工業大学 環境土木工学科 1年生98名、4年生8名  
場所：国道359号砺波東バイパス（いかるぎの大橋上部その1工事、その2工事）  
概要：砺波東バイパス事業概要、反転事業の課題（中空床板橋の利点、施工上の留意点等）



事務所概要、工事概要に関する説明（金沢工業大学）



工事の説明を聞く参加者（いかるぎの大橋その1工事）



中空床板模型を見学する参加者（いかるぎの大橋その1工事）



中空床板を視察する参加者（いかるぎの大橋その2工事）



# 富山大学オープンキャンパスにパネル等出展

開催日：平成30年8月3日(金)、4日(土)

場所：富山大学都市デザイン学部(五福キャンパス)

内容：災害対策車(ポンプ車、照明車)、道路パトロールカー、パネルの展示

富山大学「都市デザイン学部」は、2018年4月に開設された新しい学部です。高校3年生と保護者を対象としたオープンキャンパスが開催され、大学からの出展依頼を受け、担い手育成の観点から、将来の就職先の一つとしてイメージしていただくため、大学出展しました。



都市デザイン学部



災害対策車の説明状況



富山河国パネルの設置状況



災害対策車の展示状況



パネルの説明状況



パネル展示ブース内状況



# 高岡工芸高校2年生が工事現場を見学

開催日 : 平成30年9月21日(金) ※富山県建設業協会主催  
参加者 : 高岡工芸高校2年生 28名  
場所 : 国道359号砺波東バイパス(いかるぎの大橋上部その1工事外1工事)  
概要 : マシンガイダンス付バックホウ見学、非破壊試験、若手技術者(同校OB)の体験談



事業、工事の概要説明



マシンガイダンス付きバックホウ見学



UAV(無人航空機)の操作体験



写真測定の説明



コンクリート構造物の非破壊試験



若手技術者の体験談



# 富山工業高校2年生が工事現場を見学

開催日 : 平成30年9月28日(金) ※富山県建設業協会主催  
参加者 : 富山工業高校2年生 40名  
場所 : 国道41号猪谷楡原道路(猪谷橋上部工事、小糸道路その4工事)  
概要 : マシンガイダンス付バックホウ見学、UAV操作体験、若手技術者(同校OB)の体験談



事業、工事の概要説明



マシンガイダンス付きバックホウ見学



UAV(無人航空機)の操作体験



橋梁上部工事の現場見学



ボルト締め体験



若手技術者の体験談



# 南砺福野高校1、3年生が工事現場を見学

開催日：平成30年10月23日(火) ※富山県建設業協会主催  
参加者：南砺福野高校1年生30名、3年生2名  
場所：国道359号砺波東バイパス(いかるぎの大橋上部その1工事外3工事)  
概要：MCブルドーザー・上部の見学、若手技術者(同校OB)の体験談



事業、工事の概要説明



MCブルドーザーの見学



工事について質問する高校生



上部工(PC中空床版)の見学



若手技術者の体験談



集合写真



# 富山県立大学3年生が工事現場を見学

開催日：平成30年11月12日(月)  
参加者：富山県立大学 工学部 環境・社会基礎工学科 3年生 24名  
場所：国道8号付加車線設置工事(小矢部地区交通安全対策事業)  
概要：施工状況見学、若手技術者及び女性技術者による建設業の魅力や体験談の紹介



事業の概要説明



工事の概要説明



鋼矢板の施工状況見学



若手、女性技術者の体験談を聞く学生



体験談を紹介する若手、女性技術者



工事について質問する学生

平成30年8月4日(土)に利賀ダム連絡協議会、利賀ダム建設口山地区対策協議会、利賀地域児童生徒育成会主催の「利賀ダム見学イベント2018～五感で味わう、利賀ダムの魅力～」に当事務所の他、南砺市、富山県砺波土木センター、利賀ダム工事事務所安全対策協議会と共にお手伝いいたしました。

今回は、『利賀大橋』（利賀ダム工事用道路 兼 一般国道471号利賀バイパス）開通式典（10月14日開催）のプレイベントとして、ダム建設事業への関心を持ってもらうことを目的に開催し、児童生徒19名を含む85名の地元の方々にご参加いただきました。

イベントの最後には、庄川遊覧船から利賀大橋を見学しました。船内では、利賀ダム事業や利賀大橋の説明に熱心に耳を傾けて頂き、最後は大きな拍手をいただきました。

**利賀ダム見学イベント2018**

五感で味わう、利賀ダムの魅力。

日時 8月4日(土) 11:00～11:30(受付)

会場 利賀ダム建設口山地区対策協議会

出発までの準備は本番前日までに済ませてください。

当日のスケジュール:

- 11:00 利賀大橋から遊覧船乗船とばし
- 11:25 白入バスを完成させよう
- 12:00 利賀ダムカレーをつくる
- 13:50 遊覧船から利賀大橋を見学

たのしいイベントがいっぱい!

【実施状況】



利賀大橋にて記念撮影



子供達と一緒にダムカレー試食!



遊覧船へ乗込み  
利賀大橋を見学!



平成30年10月30日(火)、「産((一社)日本埋立浚渫協会、富山県港湾建設協会)・「学(富山工業高等学校)・「官」の3者が連携し、富山工業高校土木工学科1年生40名を対象に、伏木富山港(新湊地区)の港湾工事の現場見学会を実施しました。

まず貨物量の増大・コンテナ船の大型化に対応するための既存岸壁の延伸工事についての事業概要の説明を伏木富山港湾事務所から、実際の工事の概要説明を受注者から説明した後、現場見学場所に移動し、棧橋上部工の鉄筋組み立て状況を見学。

見学後、隣接工事を施工している受注者の女性技術者(入社2年目)から「建設工事を選んだ理由」と題して、土木を選択した理由、現場の良い点・困った点など本音も含み分かりやすく高校生に話していただきました。

質疑応答では、「1日の作業ノルマが細かくあるか?」「これまで一番の失敗はどれくらいか?」「給料はどれくらいか?」などの幅広い内容の質問がありました。

### 現場見学会の状況



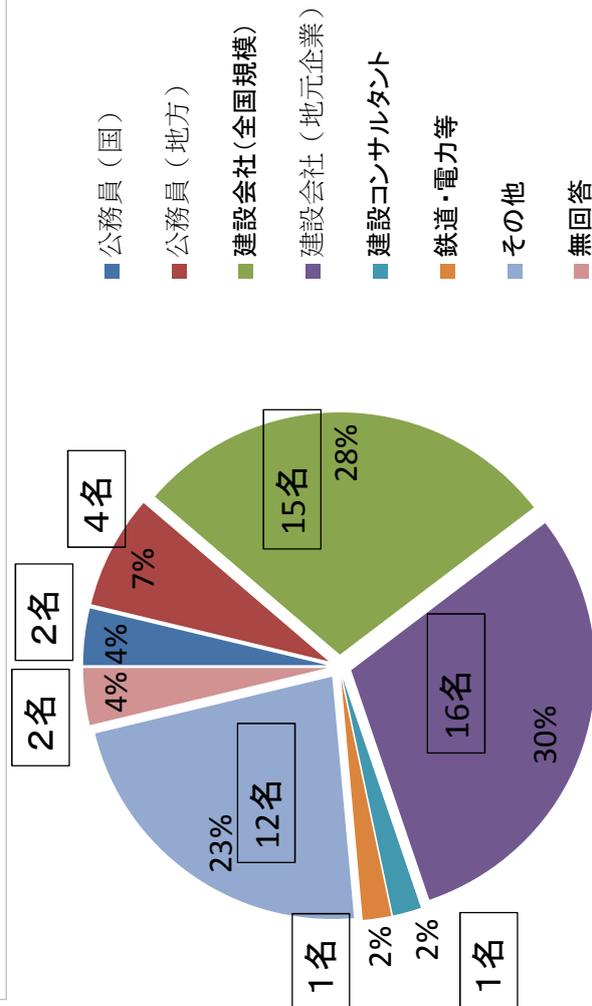
平成30年12月14日(金)、富山河川国道事務所、伏木富山港湾事務所、富山工業高校土木学科2年生39名(1名欠席)を対象に座学「国土交通省の仕事」として、北陸地方整備局の河川・道路・砂防・港湾の事業について講義を実施しました。

約90分の講義を行い、1時間目は富山河川国道事務所 副所長より「社会資本整備のあゆみ」として、砂防・河川・道路整備の歩みとICT 技術を活用したネットワークの構築、広域危機管理体制やTEC-FORCE 等の備えを講義し、2時間目は伏木富山港湾事務所 先任建設管理官より「港湾整備事業について」として港の役割や北陸地方整備局の港湾の整備事業、みなどまちづくり等を講義しました。

### 講義の様子



(アンケート結果)  
将来の進路はどのように考えていますか？(複数回答)



普段の暮らしにも密接な関わりを持つ伏木富山港について学び、興味や関心、愛着を持ってもらえる機会を提供することを目的として、射水市内小学校及び高岡市内小学校の5年生を対象に「みなとの見学会」を実施しました。

合計参加者数は、射水市内小学校4校284名、引率者20名、高岡市内小学校4校169名、引率者20名となった。  
また、今年には当事務所職員が小学校に出向いて「出前授業」も実施しました。

### 【みなと見学会】

射水市内小学校	射水市立 太閤山小学校	5年生	74名	引率者他	5名
新湊大橋（あいの風プロムナード）を徒歩で見学→富山県営渡船（越の潟フェリー）乗船見学→国際物流ターミナル見学	射水市立 下村小学校	5年生	18名	引率者他	3名
	射水市立 中太閤山小学校	5年生	46名	引率者他	4名
	射水市立 大門小学校	5年生	146名	引率者他	8名
	合計		284名		20名



みなとを見学（港湾業務艇なごかぜ船上から）



国際物流ターミナル見学



新湊大橋（あいの風プロムナード）見学



新湊大橋前で記念撮影

高岡市内小学校	高岡市立 伏木小学校	5年生	50名	引率者他	6名
港湾業務艇「なごかぜ」船上から伏木富山港（伏木地区）を見学→新湊大橋（あいの風プロムナード）を徒歩で見学	高岡市立 太田小学校	5年生	13名	引率者他	4名
	高岡市立 古府小学校	5年生	25名	引率者他	4名
	高岡市立 牧野小学校	5年生	81名	引率者他	6名
	合計		169名		20名

### 【出前授業】

射水市内小学校	射水市立 大島小学校	5年生	138名	引率者他	5名
写真やクイズをおりまぜながら「港」の役割や「伏木富山港」について学習してもらいました。					



出前授業の様子

# 建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(社会資本の役割や建設産業の魅力のPR)

## 県政バス「富山どぼく発見！ツアー」(H20～)

- ・平成30年8月14日(火)実施 29名参加(子供15名、保護者14名)
  - ・小学生以上18歳以下の子供とその保護者等を対象
  - ・県内の土木施設や施工現場などを見学
- (主な内容)
- ・富山新港の見学(国際物流ターミナル、新湊大橋 等)
  - ・富山テレビ放送「元気とやま みんなのクイズ」に回答者として参加



富山新港の見学



元気とやま みんなのクイズ

## 平成30年度の様子

## 富山県立大学「ダ・ヴィンチ祭」へ建設業ブース出展

- ・平成30年8月4日(土)実施 195名受付(高校生以下116名、一般79名)
  - ・建設業協会、建設コンサルタンツ協会、測量設計業協会と連携して実施
  - ・建設業のイメージアップ、将来の担い手確保のため、楽しみながら建設技術を体験
- (主な内容)
- ・ドローンの飛行実演 ・測量体験 ・VR(バーチャルリアティ-)-建設現場体験
  - ・ラジコン重機の遠隔操作 ・ペーパーブリッジの製作



VR体験



ペーパーブリッジ

## 平成30年度の様子

## 「ミル・シル・マナブとやまの土木・建築見学会」(H29)

- ・第1回 30年8月8日(水)実施 27名参加(学生18名、教員9名)
  - ・第2回 30年12月7日(金)実施 19名参加(学生12名、教員7名)
  - ・富山県立大学及び富山大学と連携し、将来の土木技術者を目指す両大学の学生及び教員を対象とした見学会を開催
- (主な内容)



ICT建機、ドローン体験



今町地区急傾斜

- ・第1回 国道41号猪谷楡原道路事業(ICT活用工事)、今町地区急傾斜緊急対策法面工事、富山きときと空港の見学
- ・第2回 伏木富山港(新港地区)、庄川水系地久子川護岸工事、県道高岡環状線道路改良工事(橋梁上部工・下部工)

# 建設業における担い手確保・育成に向けた取り組み

(将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成)

## 将来の建設業を担う人材の入職・定着・育成

### ○女性が活躍できる労働条件改善補助事業

**建設企業等**が行う、最新型の作業服等(空調付き作業服・ヘルメット等)の購入、労働条件改善のための社内規定の整備(育児・介護休業制度の導入等)など、女性も働きやすい職場になるような**労働環境改善の取組みへの支援を実施**(H27～)



空調付き作業服

【H30実績】(募集修了)  
・トイレルの改修  
・最新型作業服の導入  
3社  
2社

### ○建設業若者活躍支援事業

**事業者団体**が行う、**若年層の入職・定着・育成の取組みへの支援を実施**(H30)

- ・資格取得支援講座 <対象>在職者  
土木・建築施工管理技術検定試験の短期集中対策講座の開催
- ・就職直前技能向上研修 <対象>高校生  
玉掛け及び小型移動式クレーン運転技能講習の開催
- ・新入社員向け研修 <対象>新入社員  
技術力向上や離職防止を図るための研修の開催



### ○「もっと女性が活躍できる建設業」支援事業

内閣府の「地域女性活躍推進交付金」を活用し、建設企業における女性活躍推進を図るため、**女性技術者や経営者等を対象とした研修会を開催**(H30)

## 建設業以外の新分野への進出に取組み建設企業に対する支援

### ○建設業新分野進出等支援補助事業

経営基盤の強化に向け、プラン策定、事業立ち上げ、事業定着に要する費用を助成し、**建設企業の新分野進出を支援**(H18～)



【H30実績】  
1社 (11月末現在)



完全人工光型植物工場

木製品の企画・製作・販売

## 女子学生を対象とした現場見学会

【取扱注意】

- 期 日 平成30年10月29日(月)
- 参加者 富山県立大学 環境・社会基盤工学科 女子41名、島教授、吳准教授、手計准教授  
(1年19名、2年10名、3年4名、4年7名、院1名)
- 内 容 1. 現場見学
- ①庄川・柳瀬護岸災害復旧その2工事  
説 明：富山河川国道事務所大門出張所、(株)岡部 高見るみ子  
その他：情報化施工説明・ICT建機見学、ドローン操作体験
  - ②小矢部川・西中野堤防強化工事  
説 明：富山河川国道事務所小矢部出張所、射水建設興業(株) 金塚歩美  
その他：現場事務所見学 (快適トイレ等)
2. 女性技術者との意見交換会



庄川・柳瀬護岸災害復旧 (ICT建機)



庄川・柳瀬護岸災害復旧 (ドローン)



小矢部川・西中野堤防強化工事 (技術者の仕事)



小矢部川・西中野堤防強化工事 (現場事務所)



意見交換 (女性技術者の働き方等)



意見交換 (質疑応答)

## 女子大学生の現場見学会 意見交換での特徴的な意見

### ●説明

- ・技術者の役割、仕事内容
- ・女性技術者の一日（出産前と出産後の比較）。
- ・産前産後休暇など福利厚生 の状況

### ●質疑応答

学 生：現在3年生で、進路に悩んでいる。なぜ、コンサルや公務員でなく施工管理の仕事を選んだのか。

技術者：元々、現場での作業に興味があったが、体力面では男性にかなわない。施工管理の仕事なら、体力がない女性でもできるのではないかと思ひ、施工管理の仕事に就こうと考えた。

技術者：女性の先輩がいて、施工管理の仕事ができるというのが理由。入社当時、女性はすぐやめるのではないかと言われていたが、先輩の女性技術者の存在が大きく、仕事を続けてこられた。

学 生：男女で賃金の差はあるか。

技術者：施工管理において男性と女性の給与差はない。女性でも男性と同様に評価され、資格や実績がボーナスに反映される。

学 生：残業はあるか。

技術者：あるが、現場の作業自体は17時までで、それ以降は書類作成などの事務仕事となるが、正直コンサルより少ないと思う。コンサルは帰りが22時とか23時と聞く。また、公務員もそれなりに残業している。施工管理だからと言って特別残業が多いわけではない。

学 生：旅行が趣味だが、社会人になったら長期旅行には行けないのか。

技術者：現場の工期は、半年～1年。それが終わったら、まとめて休暇を取得したりして海外旅行などに行っている。年末年始などと合わせれば2～3週間の休みを取ることも可能。この業界は、土日仕事の場合がある代わりに、その分まとめて休みが取れるので、他の業界よりも旅行に行きやすいと思う。

学 生：育児休暇はどれくらい取得できるのか。

技術者：弊社では1年。ただ、自分の場合は保育所への入所手続きの都合上、1年未満で復帰した。法律上、時短勤務や看護休暇など、制度がたくさんある。私の場合は、自分で調べて会社に認めてもらった。

### ●技術者からのアドバイス

- ・女性技術者の先輩がいる会社に入社したほうが、会社も女性への配慮や扱いに慣れているので、よいと思う。
- ・この業界には女性が少ないがゆえに、他社の女性技術者とも仲良くなりやすい。大変なイメージもあるが、その仕事をやりたいかどうかだと思う。やってみてみたいと思ったら、一回やってみてみた方がよい。

## ●今日の感想

2年生 将来のことを決めずに参加したが、ドローンの操縦は貴重な体験だった。

2年生 今日見学したような仕事は、自分の進路として考えていなかったが、女性でもできるのだと分かった。会社にもよると思うが、福利厚生も充実している。この仕事への興味が出た。地元でもこのような会社を探してみたい。

4年生 一番ためになったのは、技術者の方が、自分で権利をいろいろ調べて会社に訴えた点。主張していくことが大切だと思った。

4年生 自分の進路はすでに決まっている。 男性に負けないような技術や几帳面さを活かしてがんばりたい。

1年生 元々、現場監督になりたくて、この学校に来た。今日はリアルな話が聞けてよかった。

1年生 今日体験して、イメージしていたのと全然違った。地元で働こうと思っていたが、富山の会社もいいなと思った。 ※滋賀県出身

1年生 これまで、企業の方から話を聞くことはあったが、女性技術者の話を聞くことはなかったなので、今日はよい経験になった。

## ●終了後のインタビュー

1年生 この業界で女性が活躍しているイメージがなかったが、今日の現場を見学して、女性も男性と同等に仕事ができると感じた。

1年生 将来、子どもができた時に休みが取れるか不安があった。今日話を聞いた3人の女性技術者の方は、皆、楽しそうだった。大変でも自分の仕事に誇りを持ってやっていることが伝わってきた。今日はほとんど知識がないまま参加したが、かなり興味を湧いた。 進路選択では、建設業以外のほかの業界も見えてから決めたい。

平成30年7月13日(金)、富山大学都市デザイン学部都市・交通デザイン学科の学生(1年生 6名)を対象に、「まちなか授業フィールドワーク」講義に協力し、現場見学会を開催しました。

「まちなか授業フィールドワーク」とは、富山県内の様々な土木の現場を訪問し、土木技術を学ぶ一環として同大学が企画した教育プログラムであり、当協会として社会インフラ整備の一役を担う建設コンサルタンタ業の仕事紹介をさせていただきました。

7月27日には、富山の中心市街地である「グランドプラザ」において、一般市民が見守る中、学生による報告会が開催されました。

### 建設コンサルタントの役割や新湊大橋の概要についての講義&意見交換会



久保田先生による開会挨拶



講義&意見交換会の状況

#### ◆講義&意見交換会の内容

- [第1部：建設コンサルタントの役割]  
 ・建設コンサルタントは何をする会社か？  
 ・建設コンサルタントのミッション  
 ・建設コンサルタントのビジネスモデル
- [第2部：新湊大橋の概要]  
 ・橋の概要と構造的な特徴  
 ・大規模地震や振動に対する対策 など

#### 学生による報告会(平成30年7月27日)



報告会の状況(グランドプラザにて)



#### ◆現場見学会の目的

- ・事前に受けた講義の内容を現場で再確認
- ・図面等では感じ取れないスケールを体感
- ・直に目で見て初めて気づく疑問の発見



前半の講義より現場見学会の方が活  
発な意見交換が行われた



現場見学会の状況

- #### ◆報告会を傍聴しての感想
- ・今回の講義で学んだことを堂々と答えようとすると姿が印象に残った
  - ・難しい質問にも何とか答えようとしたコンパクトシティを目指す富山の街をフィールドとして学んだことを今後の活躍に活かしてもらいたい

# H30年度新教育プログラム 「富山建設界の業界研究を通じたキャリア ア形成支援と県内定着の推進」

## 実施報告

2018年10月25日（木）13：10～14：40

# 富山県建設業協会高岡支部と 学生との意見交換会

学生たちの思考，どうして富山に残らない？，どうして建設業を選ばない？



学生25名  
企業11名



# 女子学生のための現場見学会 (富山県建設業協会共催)

2018年10月29日(月) 休講日

現場見学①庄川・柳瀬護岸災害復旧その2工事(女性監理技術者)

現場見学②小矢部川・西中野堤防強化工事(女性監理技術者)



2018年11月14日（水）17：00～19：00

# 県内建設・環境系企業研究会



(一社)富山県建設業協会

会社名
1 大高建設(株)
2 共和土木(株)
3 丸新志鷹建設(株)
4 朝日建設(株)
5 (株)高田組
6 辻建設(株)
7 (株)牧田組
8 砺波工業(株)
9 松本建設(株)

(一社)斜面防災対策技術協会富山支部

富山県地質業協会

会社名
1 ダイチ(株)
2 (株)アークジオ
3 (株)村尾地研
4 安達建設(株)
5 野原建設(株)

(一社)富山県測量設計業協会

会社名
1 北陸コンサルタント(株)
2 (株)新日本コンサルタント
3 (株)上智
4 北建コンサル(株)
5 (株)寺島コンサルタント
6 (株)明和
7 (株)雄川コンサルタント

環境系企業

会社名
1 日本海環境サービス(株)
2 アースコンサル(株)
3 (株)アイザック
4 (株)富山環境整備

参加企業：25社  
参加学生：学生42名（B3、B4、M1）



1年、2年生の低学年を対象として（希望する3年生含む）、県内企業と学生が直接対話できる企業研究会の実施（**県内企業を知ってもらう入口対策**）

- ・ 新年2月9日（土）午後13時～15時半（予定）
- ・ 1年、2年（希望する3年含む）120名程度と県内企業との個別企業研究会
- ・ 建設、斜面・地質、測量設計から25社程度、環境・衛生系から5社程度募集したい。なお、OBのいる企業を優先。
- ・ 学生を4人程度のグループに分けランダムに5社と直接面談するシステム
- ・ 30分程度の業界紹介後、1グループ20分×5社で2時間程度。スタンプレリー方式。
- ・ 合同企業説明会の企業ブースのイメージ
- ・ 大講義室、教職員コモン、L201、L202、L203、L204、L205教室を予約済み

- 北陸地方における建設界の担い手をめぐる現状や課題に関する認識を共有し、建設界の担い手不足に対し、建設関係団体、教育機関、関係行政機関等が一体となって、担い手の確保・育成の取り組みを推進することを目的として、平成26年10月3日北陸建設界の担い手確保・育成推進協議会を設立。
- 令和元年度の活動を推進するため、取り組みの展開について検討。

## 開催概要

【新潟県部会】 令和元年6月26日（水）10:00～12:00

- 〔会場〕 北陸地方整備局 4F会議室
- 〔出席機関〕

〔行政〕 北陸地整、新潟労働局、新潟県教育委員会、新潟市

〔建設産業〕 日建連北陸支部、新潟県建設業協会、建設コンサルタツ協会北陸支部、新潟県測量設計業協会、新潟県地質調査業協会、日本道路建設業協会北陸支部

〔教育〕 長岡工業高等専門学校、塩沢商工高校、中条高校

新潟県部会開催状況



## 検討結果

令和元年度は、昨年度に引き続き合同企業セミナーを実施するなど、各大学・建設系高校への取り組みはもちろんのこと、小中学生などの将来の担い手に対しても、建設業の魅力発信するなどの取り組みを引き続き進める。また、普通科高校の進学組へのPRの仕方についても議論していく。

## 意見等

- 今年度の本会議は10～11月頃、県部会は11～12月頃に実施することで了解。
- 令和元年度は引き続き各大学、建設系高校、小中学生等へ建設業の魅力を発信していく。
- 県部会のイベントとして、合同企業セミナーは昨年度と同様に実施する。また、全国産業教育フェアには、出来る範囲で協力する形とする。
- 普通科高校へは進学組も含め建設界のPRが必要。  
普通科高校生徒の入職データは県教育委員会等の協力を得る。



塩沢商工高校 中川校長